

自分らしい

“明日”を描こう

カラフルに輝く大田区の仕事人

お仕事レポート

Vol.

2

自分自身で自分の役割を 見つけて欲しい。

経営者として

大変だったことは何ですか？



ふじとう
藤東造園建設株式会社
代表取締役

はらだ ゆきこ
原田 由季子さん
Yukiko Harada

Profile

結婚と同時に藤東造園建設株式会社に入社。42歳の時、夫の跡を継いで代表取締役に就任する。従業員数は20人プラス1匹。管理のほかに現場での業務もこなす66歳。大田区男女共同参画推進区民会議委員。

級造園施工管理技士の資格を持っていて、現場で活躍してくれていますよ。

造園という仕事を通して、大切にしていることは？

街路樹の剪定や、公園の維持管理などを行っています。樹木

24年前に夫が他界し、会社を受け継ぎました。結婚してからずっと仕事に携わっていましたが、迷いはありませんでした。社長業で苦労したのは、お金のこと。会社を動かすには、それまでの自分の許容範囲を超える大きなお金が動くので、怖くて仕方ありませんでした。本を読んで勉強をし、多くの人に聞いてたくさん教えていただきました。数年かかりましたが、どこかでストンと開き直ることができました。

当時は大変でしたが、職人さんたちはみな優しくしてくれました。木や土をいじる人はそもそも気が優しいんですよ。男性社会といわれる業界ですが、最近では活躍する女性が増え、頼もしいです。うちの女性社員も1

仕事だけでなく、家庭でも同じです。

自分たちの会社が、社会の中で何をできるかも考えています。現在は、IPM方式といって、極力農薬を使用せず、風の道をつくった剪定をして病害虫がつかないようにする、環境に優しい樹木管理をしていきたいと、社員一同で勉強しています。また、剪定の際に出てきた枝を炭にして有効活用しようとして「都会で炭焼きプロジェクト」というNPOの設立にも参加し、挑戦を始めています。



レトリバーのりかちゃんも大切なスタッフです。現場から帰ってきた社員を出迎えたり、会議に参加したり…。和やかな職場の雰囲気づくりに一役買っています。